



氏名 近藤和夫

年齢 57

所属 日本医療大学

立候補の趣旨

分科学会設立からこれまで運営幹事、理事を務めさせていただいております。学会内では、循環器病対策基本法委員会、顕彰・名誉会員選考委員会、研究推進委員会を担当しております。

循環器病対策基本法に関しては、各地域で対策推進協議会が設立され関与している理学療法士も多く関与しているものと思います。そのため、理学療法士のネットワークを構築し情報交換の場として活用できるよう準備を進めています。また、研究活動においても「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により倫理的配慮が強く求められています。今後、研究活動に支援ができるような体制づくりも検討すべき課題であろうかと思っております。

皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

役員歴

2002年～現在	心臓リハビリテーション指導士
2004年～現在	日本心臓リハビリテーション学会評議員
2010年～現在	専門理学療法士（内部障害理学療法専門分野）
2013年～現在	認定理学療法士（内部障害理学療法専門分野：循環）
2013年～21年	日本心血管理学療法学会運営幹事
2015年～現在	心臓リハビリテーション上級指導士
2015年～現在	日本理学療法士学会研究安全・学術倫理委員会
2015年～19年	日本理学療法士協会研究推進委員会協力員
2021年～現在	日本循環器理学療法学会理事
2021年8月	第5回日本循環器理学療法学会学術大会 大会長



氏名 高橋哲也

年齢 54

所属 順天堂大学

立候補の趣旨

循環器理学療法学の更なる発展のため、そして、理学療法士の皆さんが夢をもって楽しく仕事ができるように、2期目を目指して立候補させていただきます。

日本循環器理学療法学会のメインアクションプランは、「循環器理学療法評価の標準化」と「学会が主体となった研究の実行」です。令和4年度も「学会が主体となった研究」として「高齢心不全患者のフレイル実態調査（令和3年12月末、36都道府県、96施設の協力を得て、6,728例の症例登録）」を継続し、本邦における高齢心不全患者の身体的特徴や機能不全の実態を明らかにして、都道府県ごとの循環器病対策に資するエビデンスを構築し、理学療法士のプレゼンス向上に寄与したいと考えています。

また、循環器理学療法評価の標準化に向けた調査およびミニマムスタンダードの作成を進めます。循環器理学療法評価の標準化は、諸策の立案や診療報酬に資するデータベースの構築、教育の標準化に資するものであり、学会活動の一丁目一番地と考えています。

その他にも、事務局機能の強化、広報活動の充実、機関誌発行、学術集会やサテライトカンファレンスの充実、循環器病対策基本法や社会保険対策、そして、何よりも人材育成と、課題は山積しています。微力ながら、循環器理学療法学の発展に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

役員歴

2006年07月～現在	日本心臓リハビリテーション学会	理事（現在 副理事長）
2007年06月～現在	「理学療法学」	編集委員
2009年07月～現在	日本循環器学会	チーム医療委員会 委員
2015年06月～現在	日本理学療法士協会	理事
2016年11月～現在	日本心臓病学会	チーム医療委員会 委員
2020年03月～現在	日本集中治療医学会	理事
2021年04月～現在	日本循環器理学療法学会	理事長



氏名 花田智

年齢 42

所属 都城市郡医師会病院

立候補の趣旨

この度、理事に立候補いたしました、都城市郡医師会病院の花田智と申します。3年前に分科学会（心血管）運営幹事となり、現在は日本循環器理学療法学会理事として教育委員会委員長を拝命しております。昨年設立されました本学会は、まだ歴史の浅い学会であります。学会設立の趣旨でもある「研究推進」「当該療法の普及」「国民の健康維持・向上」「循環器医療への貢献」は今後も本学会活動の大きな柱であり、更なる発展が求められております。

その中で、昨年開催しました2回のサテライトカンファレンスでは、多くの講師の先生やご参加いただいた皆様のおかげで、この分野における標準的評価、介入の知見を少しずつ拡げることができたと実感しております。今後も当該分野の教育の場を拡充し、理解を深めることは、さらに増加してくる心疾患高齢者や新しい治療技術等への対応を可能とするためには非常に重要な事業だと考えております。その他にも、現在進行中であり「レジストリ研究」「各都道府県循環器病対策推進協議会への参画」「国際事業・連携」など重要な事業がいくつもあります。これらの事業を円滑に進めていくためには、これからも先輩方やU40世代の方々との世代間、各地域の横の連携・協働が益々大切になってきます。生まれたる本学会は、未来へ大きな可能性を秘めた学会でもあります。是非、今後も本学会の理事として、今まで以上にこの分野の発展、国民の健康維持・向上に寄与したいとの思いが強く、今回も立候補いたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

役員歴

2014年 専門理学療法士（内部障害理学療法）

2018年 日本心臓リハビリテーション学会 心臓リハビリテーション上級指導士
日本心臓リハビリテーション学会 評議員

2019年 日本心管理理学療法学会運営幹事

2020年 日本心臓リハビリテーション学会 九州支部地方会 評議員

2021年 日本循環器理学療法学会 理事（教育委員会委員長）
宮崎県理学療法士会 理事
宮崎県循環器病対策推進協議会委員



氏名 阿部隆宏

年齢 41

所属 北海道大学病院

立候補の趣旨

私は症例検討委員会（委員長）、規約検討・利益相反委員会（副委員長）として日本循環器理学療法学会の設立と運営に携わらせていただきました。特に循環器理学療法に関わる理学療法士のためのサテライトカンファレンスを企画し、最新の学術情報やトピックスを発信し、会員に対して循環器理学療法における標準的知識を共有することや臨床的・学術的発展に寄与することを目標に活動してきました。委員会活動では、全国の第一線で活躍する理学療法士に参加していただき、広く様々な意見を取り入れながら、今後の事業を企画しております。引き続き本会および会員の発展のために尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

役員歴

2021年 日本循環器理学療法学会 理事



氏名 天尾理恵

年齢 48

所属 東京大学医学部附属病院

立候補の趣旨

心不全患者の増加とともに治療の進歩を認める昨今、患者も多様化し循環器疾患患者治療に関わる理学療法士（PT）に求められるものも増加することが予想されます。PTが新たな活躍の場を獲得できるよう、学会活動に尽力したいと考え立候補を決意致しました。

1. アセスメント力とプログラムアレンジ力の強化

重複疾患患者や希少疾患、多臓器障害を有する重症心不全患者の急性期など、教科書通りには進められない患者が増加しているのが臨床現場の実情である。多様な患者に対応し、リスク管理はもちろん、状態悪化を招くことなく最大限の効果を得られるためには、さらなるアセスメント力の強化が求められると考える。アセスメント力に加え、運動負荷のさじ加減が上手く行えることが重要である。どんな患者にも臆することなく対応できるアセスメント・アレンジ力の強化を図るべく、実戦に即したワークショップ開催などでスキルアップを図りたい。

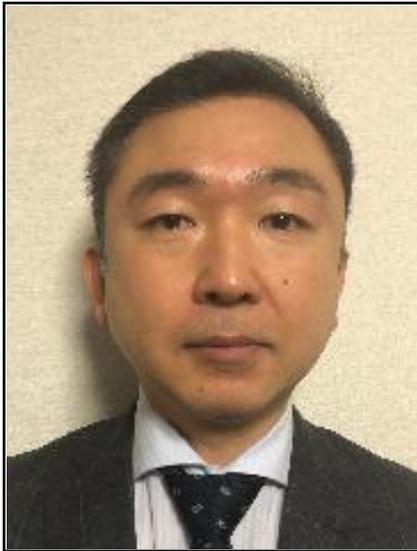
2. 小児循環器分野のリハビリテーションの拡充

小児先天性心疾患患者の治療技術の著しく進歩しており、長期予後は改善されている。小児心疾患を対象とする施設は多くないため、小児患者に馴染みが薄い、また、小児患者治療は行ってもリハビリテーションの介入は行っていないなど、小児リハビリテーションは普及しているとは言い難い。今後、成人先天性心疾患は更に増加することが予想されるため、先天性心疾患の基礎知識とリハビリテーションの普及に尽力したいと考えている。

3. 補助循環装置装着患者のリハビリテーションの標準化と施設連携

心臓移植を目指す補助人工心臓（VAD）患者数は1000人に迫ろうとしている。特殊治療ではあるが、待機期間が5年を超える現在、遠隔期の身体機能・運動耐容能の維持が重要であることは明確である。また、VAD永久使用の臨床治療も開始となり、高齢患者の増加が予想される。植込み施設だけの管理には限界が見えており、各地域での管理やリハビリテーションの継続が望まれている。そのためにVAD基礎知識の普及、各施設の連携が取れるよう取り組んでいきたいと考えている。

役員歴



氏名 森沢知之

年齢 46

所属 順天堂大学

立候補の趣旨

この度、理事に立候補させていただきました森沢知之でございます。

これまで本学会の前身であります日本心管理理学療法学会の運営幹事を含め、約7年間、運営幹事を務めさせていただきました。
昨年4月に日本循環器理学療法学会として新たに出発した際には総務委員長として、本学会の総務に関するまとめ役をさせていただいております。

まだまだ多くの課題がありますが、学会員の皆様や社会にとって魅力的で有意義な学会になるように微力ながら務めさせていただく所存です。

役員歴

2014～2021年 日本心管理理学療法学会運営幹事
2021年～ 日本循環器理学療法学会理事・総務委員会委員長



氏名 木村雅彦

年齢 54

所属 杏林大学保健学部

立候補の趣旨

未曾有の災禍にあって循環器理学療法科学の科学性は、我が国の理学療法にとって全ての基盤です。心不全パンデミックを迎え撃ち、脳卒中循環器病予防基本対策法を追い風として、またCOVID-19およびpost COVID患者に対する重要な役割が求められています。私はCOVID-19情報収集発信の支援に加えて、感染管理の上で多臓器障害者として内部障害患者や高齢者をとらえ、その障害を最小化するという理学療法の命題を常に意識して参りました。理学療法は科学としての評価を受けて、人に役立つ学問と医療技術として洗練され、更に新たな挑戦を重ねていく必要があります。法人化も学術ならびに学会に貢献する組織としての発展でなければなりません。お互いに高め合うためにも2023年には循環器理学療法学会と呼吸理学療法学会との合同開催を準備しております。豊富な若い研究者たちと共に、本学会の臨床・教育・研究のそれぞれの領域において貢献したいと考えております。

役員歴

日本循環器理学療法学会 理事，
第7回日本循環器理学療法学会・第9回日本呼吸理学療法学会（2023年合同学会予定） 大会長
第2回日本呼吸・心血管・糖尿病理学療法学会（JRCD-PT2018）／第3回日本心管理理学療法学会（the 3rd JSCVPT）準備委員長
日本呼吸理学療法学会 理事，
第2回日本呼吸理学療法学会準備委員長
日本心臓リハビリテーション学会 評議員，災害対策部会員
日本呼吸療法医学会 代議員
日本熱傷学会 評議員，広報委員
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 評議員，編集委員
専門理学療法士（内部障害），認定理学療法士（循環），心臓リハビリテーション指導士，3学会合同呼吸療法認定士，呼吸ケア指導士，理学療法士作業療法士国家試験委員



氏名 田畑稔

年齢 58

所属 東京保健医療専門職大学 リハビリ
テーション学部 理学療法学科

立候補の趣旨

私は、2004年日本理学療法士協会内部障害部会発足時より、循環器班員として、日本循環器理学療法学会の学術活動へ参画させて頂きました。
この度、立候補に際し、循環器理学療法を志す会員の皆様へキャリア支援体制を構築すること。
循環器理学療法を研究する先生方へ研究サポート事業を施すこと。
次世代を担うU40の活動を支援すること。
以上を念頭に置きまして、日本循環器理学療法学会理事へ立候補致します。
誠に微力ではございますが、学会活動へ尽力させて頂きます。
皆様のご協力、ご支援の程、何卒、宜しくお願い申し上げます。

役員歴

2002年日本心臓リハビリテーション学会評議員
2004年日本理学療法士協会内部障害部会循環器班員
2008年日本理学療法士協会診療ガイドライン作業部会委員
2011年日本理学療法士協会内部障害研究部会運営幹事
2013年日本心管理理学療法学会運営幹事
2014年日本理学療法士協会学術誌査読委員
2017年日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会心血管作成班員
2019年第4回日本心管理理学療法学会学術大会長賞審査員
2021年日本循環器理学療法学会機関誌編集委員会委員長
2021年日本理学療法学会連合機関誌調整委員会委員
2021年日本循環器理学療法学会理事
2021年日本循環器理学療法学会第6回学術大会長



氏名 神谷健太郎

年齢 42

所属 北里大学

立候補の趣旨

私は、現在、本学会の学術集会委員会委員長を拝命し、学術集会運営マニュアルの作成をすすめております。毎年変わる学術集会の準備委員ができるだけスムーズに準備を進められるようなマニュアルおよびツールを作成し、大きなコストをかけずに円滑に学術集会が運営できるようなシステムを構築できればと思います。

立候補にあたって、以下の活動を通して社会に貢献できる学会となるよう尽力します。

・学術研究の促進：学会の本来の目的である、学術研究の向上・発展を促進するため、魅力ある学術集会の企画・運営に貢献します。

・研究者同士の連携促進：新たなエビデンス創出のため、研究者同士の自由闊達な意見交換や連携を促進できるように貢献します。

・研究知見の臨床への普及：正しく、有益な情報の普及を通して、国民の健康に資する理学療法の普及に努めます。

皆様のご支援とお力添えをいただければ幸いです。

役員歴

2021-現在	日本循環器理学療法学会理事、同学会学術集会委員会委員長
2021-現在	日本循環器協会評議員
2019-現在	日本循環器学会 2021年改訂版 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン作成班 協力員
2019-現在	日本心臓財団学術誌「心臓」 編集委員
2018-現在	日本心不全学会 代議員、チーム医療推進委員会 委員
2018-現在	日本心臓リハビリテーション学会 学術委員
2017-現在	日本理学療法士学会ガイドライン・用語策定委員
2017-2019	第4回日本心管理理学療法学会準備委員長
2017-現在	日本心臓リハビリテーション学会、日本循環器予防学会 評議員



氏名 内山 覚

年齢 56

所属 新東京病院

立候補の趣旨

この度私は、日本循環器理学療法学会理事に立候補いたします。
近年のEBPT (Evidence Based Physical Therapy) の推進のためには、学術活動をさらに活発にし、対象者および関連他職種からも厚い信頼を頂けるような学術的基板を作る必要があります。
これまでもこの領域における学会活動に従事してきましたが、今後はさらに日本循環器理学療法学会における理事として、学術活動や教育活動を通じて人材育成に励み、本学会が国民の健康と医療に資する団体となるべく努力する所存でございます。

役員歴

【役員歴】
平成15年 旧 内部障害専門領域研究部会 運営幹事
平成20年 ガイドライン特別委員会診療ガイドライン部会 委員
平成25年 学会移行特別委員会 委員
令和1年 第4回日本心管理理学療法学会学術大会 大会長
令和3年 日本循環器理学療法学会 監事

【資格】
認定理学療法士 (循環)
専門理学療法士 (内部障害)

【その他】
日本心臓リハビリテーション学会 評議員／編集委員
上級心臓リハビリテーション指導士



氏名 角谷尚哉

年齢 34

所属 株式会社Health Link

立候補の趣旨

20年後の日本循環器理学療法学会をリードする人材になるため、現職の理事として立候補いたしました。1年に満たない活動期間ではございますが、下記の実績をご覧ください。角谷尚哉に一票を投じていただければ幸いです。

役員歴

【役員歴】

2021年～現在 日本循環器理学療法学会 理事

・SNS・ダイバーシティ推進委員会 委員長

日本循環器理学療法学会の公式SNSの立ち上げ、当学会の活動をより身近に感じていただくことをモットーに投稿している。Facebook、Twitter、Instagramの総フォロワー数は1,400名を超え、特に当学会員以外への情報提供には欠かせない手段となった。サテライトカンファレンスの参加者の多くが非会員であることから、広報活動には一定の効果を示していると考えます。

また、2022年9月に開催される第6回学術大会では、ダイバーシティ推進の観点から「女性理学療法士の活躍推進 ―日本循環器理学療法学会における課題と展望―」と題した委員会企画を提案した。これは、性別・年齢・国籍を問わず循環器理学療法学を発展させる未来創造に向けて、一石を投じる企画になると考える。

・U40委員会 副委員長

2022年2月に開催されるサテライトカンファレンスの集会長を拝命し、U40委員会ならではの大胆な発想で企画した。参加者は締め切りの1週間前に350名の定員に達したことから、U40世代をターゲットとした企画ができたと考えます。

現行理事のなかでは34歳と最年少で学会運営に関する経験も乏しいが、U40世代との高い親和性を活かし、循環器理学療法領域を盛り上げる若手人材の育成を目指す。



氏名 櫻田弘治

年齢 48

所属 公益財団法人心臓血管研究所付属病院

立候補の趣旨

私は補助人工心臓や心臓移植症例に対する理学療法の実験を経て、現在は心臓血管外科術後や慢性心不全症例に理学療法士として臨床に携わっております。さらに、臨床と並行してクリニカルクエスチョンを解決すべく臨床研究に取り組んでおります。特に臨床現場の理学療法士は、高齢の循環器疾患症例が増加の一途をたどり、急性期から在宅期のシームレスな理学療法の必要性を肌で感じているのではないのでしょうか。

昨年、日本循環器理学療法学会は一般社団法人の学術団体として設立いたしました。当学会の肝いりである事業、心不全レジストリ研究が全国規模の参加施設になったことは、まさしく臨床現場で実感している理学療法士の思いがひとつになった結果だと思います。本学会は研究活動を推進しエビデンスを構築することで、理学療法に対する期待に応える責務があります。この事業によって診療報酬を獲得し、会員の皆様の職域を拡大することを目指します。

私は、職能の立場から学術団体としての当学会への橋渡しを担い、患者様や会員の皆様のための学会運営にさらにお役に立ちたいと思い理事に立候補致しました。何卒ご支援よろしくお願いたします。

役員歴

2014年～ 日本心管理理学療法学会 運営幹事 (2019～2020年 副代表)

2020年～ 日本心管理理学療法学会レジストリ研究企画部会会員

2020年～ 日本心管理理学療法学会COVID-19 対応特別チーム担当

2021年～ 日本循環器理学療法学会 副理事長 レジストリ委員会委員長



氏名 西村真人

年齢 52

所属 中国労災病院

立候補の趣旨

私はこれまで循環器疾患患者の治療に携わるとともに、研究そして後進の育成を行ってまいりました。日本循環器理学療法学会では、前身の日本心管理理学療法学会の頃から広報を担当してまいりました。2021年に本学会は法人化し、重要なプロジェクトを無事完成すべく鋭意努力しております。

現在、高齢化による循環器疾患の増加、そして循環器病対策基本法にもとづく循環器病対策推進基本計画が策定され、この分野における理学療法士の責務が非常に大きくなっています。循環器理学療法の発展や会員の皆様の知識と技術向上に貢献できればと考えています。皆様のご支援を賜りますようお願い致します。

役員歴

2017～2021年	日本心管理理学療法学会	運営幹事
2021年～	日本循環器理学療法学会	理事



氏名	齊藤正和
年齢	43
所属	順天堂大学 保健医療学部理学療法学科

立候補の趣旨

この度、日本循環器理学療法学会理事選挙に立候補致しました、齊藤正和と申します。これまで、約20年わたり、心臓リハビリテーションの臨床業務に加えて、心臓リハビリテーションの教育、普及・啓発活動に携わって参りました。

循環器病対策基本計画で掲げられた数値目標を達成するためには、標準的循環器理学療法提供体制の整備、循環器理学療法の普及啓発が最優勢課題と考えます。

これまでの経験を活かして、日本循環器理学療法学会の運営に尽力するため、微力ながら理事選挙に立候補いたします。

役員歴

2019年度－2021年度
日本心管理理学療法学会 企画部会部員

2021年度
日本循環器理学療法学会レジストリ委員会委員



氏名 田屋雅信

年齢 41

所属 東京大学医学部附属病院

立候補の趣旨

昨年、日本循環器理学療法学会が誕生してからまもなく1年が経過します。これまで、本学会のレジストリーである「慢性心不全患者のフレイル実態調査」の委員や症例検討委員として活動させていただいております。

現在、約1000名の学会員が所属していますが、日本理学療法士協会が13万人であることを考えるとまだまだ発展途上の段階といえます。

そのような中、COVID-19による不安定な社会情勢が続いており、オンラインを中心とした学会運営となっております。しかし、オンラインの特性を生かし、サテライトカンファレンスなどの自己研鑽を積む機会が増えたことはメリットですが、学会員同士の顔の見える関係性を新たに構築しにくいデメリットも感じております。理学療法士の会員数は年齢層が若くなればなるほど多くなっています。

若い世代の会員数を増やすための施策ならびに学会活動への積極的な登用により循環器理学療法が発展していくと考えています。私の経験上、学会活動に参加するためには環境が重要です。職場環境面、金銭面で学会活動が行いにくい状況に置かれている若い先生方もいらっしゃると思います。

そこで、私の世代が先人からの教えを継承し、次の世代に引き継いでいくため、この度立候補させていただきました。

どうぞよろしく願いいたします。

役員歴

2021年 日本循環器理学療法学会 評議員（レジストリー委員、症例検討委員）



氏名 飯田有輝

年齢 52

所属 豊橋創造大学保健医療学部

立候補の趣旨

私は日本循環器理学療法学会の設立趣旨に則り、循環器理学療法の世界普及、国民の健康維持・向上と医療貢献を目標として、日本循環器理学療法学会理事に立候補いたします。理事就任の暁には、学術活動の推進と支援、人材育成の仕組み作り、ガイドラインの整備・普及、循環器理学療法ブランディングに取り組む所存です。

2020年に閣議決定された「循環器病対策推進基本計画」の個別施策の中で循環器病の予防・再発防止に向けた取り組みが重要視されています。理学療法においても予後改善やQOL向上についての研究推進とエビデンス構築が求められています。また心不全について再発も含めた予防対策は医療界のみならず社会全般の重要課題です。特に高齢者ではフレイルや要介護状態の占める割合が高く、我が国の課題である健康寿命の延伸を阻むものとなっています。介護予防の問題には医療・保健および福祉の一体化が重要で、理学療法では急性期の機能低下予防、回復期のADL改善、生活期における疾病管理や自立支援などその効果を科学的根拠で示すことが必要です。具体的には現在学会が推進しているレジストリ研究から得られた理学療法の効果を社会に還元し、その役割を診療報酬に反映できるよう働きかけることが重要と考えます。

循環器理学療法は集中治療領域も含め急性期から回復期、生活期へと継続的であり、対象者も新生児から高齢者と幅広いことから、それを担う人材は現状では十分ではなく会員数の増加と育成は大きな課題です。さらに高齢者では循環器疾患以外の合併症が多数あり、運動処方やリスク管理あるいは併用療法について幅広い知識と技術が求められます。このような背景を踏まえ、循環器病の疾病管理に対する理学療法体制作りと次世代を担う人材育成に重点を置いた活動をしていきたい所存です。どうぞよろしく願いいたします。

役員歴

日本循環器理学療法学会評議員 日本心臓リハビリテーション学会評議員
日本集中治療医学会評議員 日本呼吸療法医学会チーム連携推進委員会
日本心不全学会心不全患者における栄養評価・管理に関するステートメント策定委員会
日本理学療法士協会 学術誌査読委員



氏名 井澤和大

年齢 51

所属 神戸大学 医学部保健学科

立候補の趣旨

日本における65歳以上の高齢者は、3,640万人で、その割合は、約29%に到達しています。世の中は、日々進化し続けています。そのため、国内における社会の動向はもちろんのこと、国外の情勢についても医療分野に限らず、広い視野を持ちつつ、‘学び、継続し続ける’姿勢が重要と考えられます。

私たち理学療法士の多くは、主に人を対象として、診させていただいています。従って、循環器疾患に特化するのみならず、小児から高齢者に至るまで、個々の状況を含めた診方がより重要になると思います。

私は、これまでに、多くの皆様のご指導・ご協力を得て、循環器理学療法に関する調査・研究をさせて頂いています。また、それらは急性期的から、回復期、維持・生活期、そして介護予防等も含め多岐に渡ります。

私自身、日々、前に進み、また、時には後退しつつ、模索し続けています。しかし、今もなお、分からぬことばかりで多くの問題が山積しています。

そのため、これまでの経験、そしてこれからの未知なる可能性とともに、心中に去来しつつ、皆様とともに歩んでいきたいとの思いであります。“理学療法学”の新たな発展のためにも、皆様お一人お一人のお力が必要です。小さな力でも、その蓄積により、大きな力になる可能性があります。その思いを胸に秘め、この度、私は微力ながら、候補させていただきました。何卒宜しくお願い申し上げます。

役員歴

・日本循環器理学療法学会 理事（令和3年～）等



氏名 片野俊敏

年齢 39

所属 札幌医科大学附属病院

立候補の趣旨

これまでの臨床・研究・教育活動の経験を元に、以下の3点を実行し、循環器理学療法の発展に貢献いたします。

1. 循環器理学療法に携わる理学療法士が研究活動を力強く推進するための機会や環境を整備することにより、循環器理学療法のエビデンスの構築に資すること
2. 研究推進のプロセスを経験する機会の提供を通して、将来の循環器理学療法の科学性の追求をリードする若手理学療法士を育成すること
3. 研究推進のノウハウのある理学療法士の育成を通して、地域の実情に応じた心血管理学療法を科学的に追求し、エビデンスの構築に資すること

役員歴

H28年10月 日本心臓リハビリテーション学会北海道支部地方会 評議員（～現在）
H29年6月 日本心血管理学療法学会 学術集会実施部会部員（～R1年6月）
R1年6月 日本心血管理学療法学会 広報部会部員（～R3年6月）
R1年6月 日本心血管理学療法学会 学術大会関連協力委員（～R3年6月）
R2年6月 北海道理学療法士会札幌支部 代議員（～現在）
R2年7月 日本循環器学会 心不全療養指導士実務部会 委員（～現在）
R2年11月 U40北海道心血管理学療法ネットワーク 代表幹事（～現在）
R3年4月 第5回日本循環器理学療法学会学術大会 準備委員会 副運営部長（～現在）
R3年4月 日本循環器理学療法学会 評議員（～R3年8月）
R3年5月 日本心不全学会 チーム医療推進委員会 委員（～現在）
R3年8月 日本循環器理学療法学会 理事（～現在）
R3年10月 第6回日本循環器理学療法学会学術大会 準備委員会 企画部長（～現在）



氏名 河野裕治

年齢 41

所属 藤田医科大学病院

立候補の趣旨

この度、日本循環器理学療法学会理事に立候補致しました藤田医科大学病院の河野裕治と申します。私が理学療法士になって18年間、循環器領域の臨床や研究に研鑽してまいりました。職能団体である協会から学術団体である学会が設立されたということは、循環器理学療法の学術の発展と活性化が本学会の重要な使命だと考えております。また循環器理学療法学会は、分科学会に移行して以降に全国レジストリー研究の開始やサテライトカンファレンスの開催など精力的に活動しております。現在は評議員として学会活動に参加する機会をいただいておりますが、今後はこの活動に主として関わりたいと思い立候補に至りました。

関連学会である日本心臓リハビリテーション学会の会員数は半数以上が理学療法士の会員であることから、循環器理学療法を担う理学療法士が増加しております。これは循環器領域における理学療法士の役割と責任がおきくなってくると考えております。その際には各施設単位ではなく、学会という大きな組織としてこの責任を果たしていく必要があると思います。また今後、日本循環器理学療法学会も大きくなるにつれて各地区での役割が大きくなってくると思われます。私が所属する東海北陸地区は現在進行中の全国レジストリー研究でも参加施設が少ないことから、この地域の循環器理学療法の啓発と研究活動の活性化が必要だと考えております。学会が提示した学術情報を広く周知するのはサテライトカンファレンスなどで可能ですが、臨床に還元していく段階では地区単位での活動が重要であり、私は地区単位での活動の活性化に努めてきたいと思っております。以上の理由で、日本循環器理学療法学会理事に立候補致します。皆様、よろしくお願い申し上げます。

役員歴

2016年	日本心臓リハビリテーション学会	評議員
2018年	日本循環器予防学会	評議員
2019年	日本理学療法士学会	ガイドライン策定委員会（心管理理学療法）班員
2020年	日本循環器学会	ガイドライン作成 協力員
2021年	日本循環器理学療法学会	評議員



氏名 加藤倫卓

年齢 46

所属 常葉大学

立候補の趣旨

これまでに、日本心管理理学療法学会の運営幹事として2期、そして日本循環器理学療法学会の理事として1期を務めて参りました。現在は、当学会の副理事長として学会の管理運営を始め、財務委員会委員長、理学療法標準化委員会委員長、そして循環器病対策委員会副委員長をしております。理学療法標準化委員会では「循環器理学療法の評価の標準化」を行い、循環器理学療法に関わる理学療法の質を担保し、あらゆるフェーズの対象者に対して標準的な循環器理学療法の提供を推進します。また、循環器病対策委員会では、循環器病対策基本法に基づき各都道府県で行われている協議会において、理学療法士の意見が反映されていくように、各都道府県の委員の情報共有などを図っていきます。また、本学会主導で行われているレジストリ研究においては学術委員として、学術活動の支援および促進していきます。

役員歴

役員歴

2016年～2017年 第3回日本心管理理学療法士学会学術大会 財務部長
2017年～2021年 日本心管理理学療法学会 運営幹事（2019年～常任運営幹事）
2017年～現在 公益社団法人静岡県理学療法士会 理事（2021年～副会長）
2019年～2021年 第5回日本循環器理学療法学会学術大会 準備委員長
2021年～現在 第6回日本循環器理学療法学会学術大会 副準備委員長
2021年～現在 日本循環器理学療法学会 副理事長

当該学会および当該領域に関わる業績

2019年 日本理学療法士学会 第10回優秀論文表彰 最優秀賞
2019年 WCPT 2019 Outstanding Award
2020年 日本理学療法士学会 第11回優秀論文表彰 優秀賞
2020年 日本心臓リハビリテーション学会 最優秀論文賞



氏名 山本周平

年齢 37

所属 信州大学医学部附属病院

立候補の趣旨

この度、日本循環器理学療法学会の理事に立候補致しました山本周平と申します。これまで、微力ながら特に学会運営に携わることが多く、2022年9月に開催されます学術集会では準備委員長を拝命し運営に取り組んでおります。

日本循環器理学療法学会は学会独自のレジストリも開始しており、学会として社会に貢献出来る取り組みを積極的にはじめております。私もこれまでに培ってきた経験を活用して学会に貢献するとともに、循環器疾患に対する理学療法の有効性を幅広く認知される取り組みを進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

役員歴

2021年	第6回日本循環器理学療法学会学大会	準備委員長
2021年	一般社団法人日本循環器理学療法学会	U40委員会
2021年	一般社団法人日本循環器理学療法学会	機関誌編集委員会
2021年	一般社団法人日本循環器理学療法学会	研究推進委員会
2020-2021年	第5回日本循環器理学療法学会学大会	副企画部長
2017-2021年	糖尿病理学療法ガイドラインCQ作成班	
2017-2021年	心血管理学療法ガイドラインシステムティックレビュー班	
2017-2020年	日本理学療法士協会 心大血管理学療法学会	総務部
2018-2019年	第4回日本心血管理学療法学会学術大会	企画部
2017-2017年	第2回日本心血管理学療法学会学術集会	企画部
2016-2017年	日本理学療法士協会 心大血管理学療法学会	運営部
2014-2015年	神奈川県土会理学療法士協会	研究支援部